

地域脱炭素フォーラム2025in広島

脱炭素×農業

島根県 美郷町

美郷町を紹介

- ▶ 島根県のほぼ中央に位置
- ▶ 人口4,355人 高齢化率47.9%
- ▶ 主要産業：農業



○これまでの美郷町の脱炭素の取組

令和2年度 防災拠点整備事業

役場庁舎や防災センター、指定避難所など計10施設へ
自家消費と非常電源としての再エネと蓄電池設備を設置

総事業費 1,215百万円

国庫補助 817百万円

環境省『令和2年度二酸化炭素排出抑制対策事業費
等補助金（地域の防災・減災と低炭素化を同時実現
する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）』
補助率 最大3/4



役場庁舎・防災センター太陽光発電設備
(PV500kW、蓄電池1.5MWh)

令和5年度以降 サステナブルハウス

『自然の恵みと暮らせる家』がコンセプトの
ファミリー向け移住住宅
(敷地面積300m²、延べ床面積101m²、家賃63,000円)

※太陽光パネル5.5kW、EV用コンセント標準装備
蓄電池、EV用V2H、薪ストーブなどを追加設置
可能

※環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金
(重点対策加速化事業)」を活用

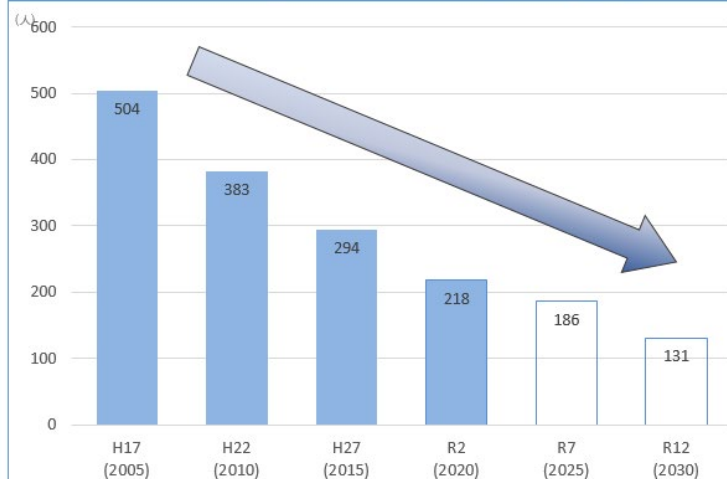


サステナブルハウス (PV5.5kW標準装備)

美郷町の農業の現状

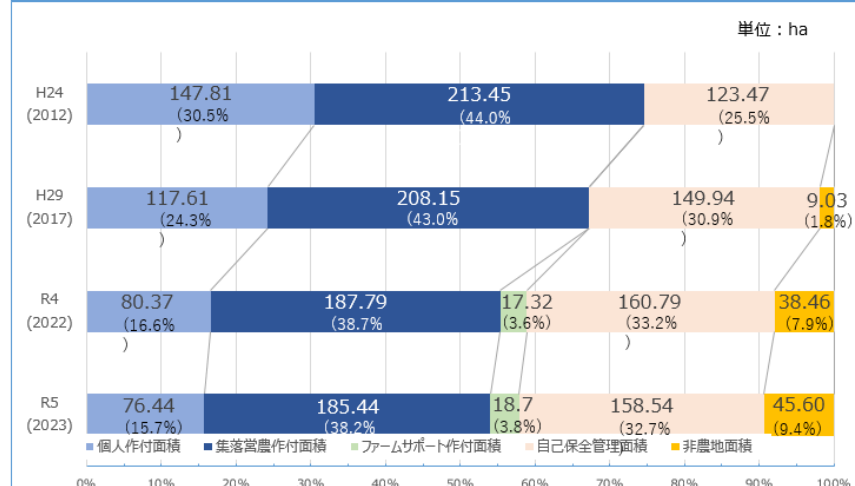
- ▶ 基幹的農業従事者数は年々減少し、令和12年には131人まで減少すると予測
- ▶ 水田の面積は個人作付面積が約10年で半減し、非農地（耕作放棄地）も年々増加しています。

美郷町の基幹的農業従事者数（実績・推計）



※1 基幹的農業従事者：農業就業人口のうち、営農の状況が農業が主たる者のことをいう。
 ※2 基幹的農業従事者数については「地域の現状」見える化カルテ（中国四国農政局統計部）の2030年の推定値

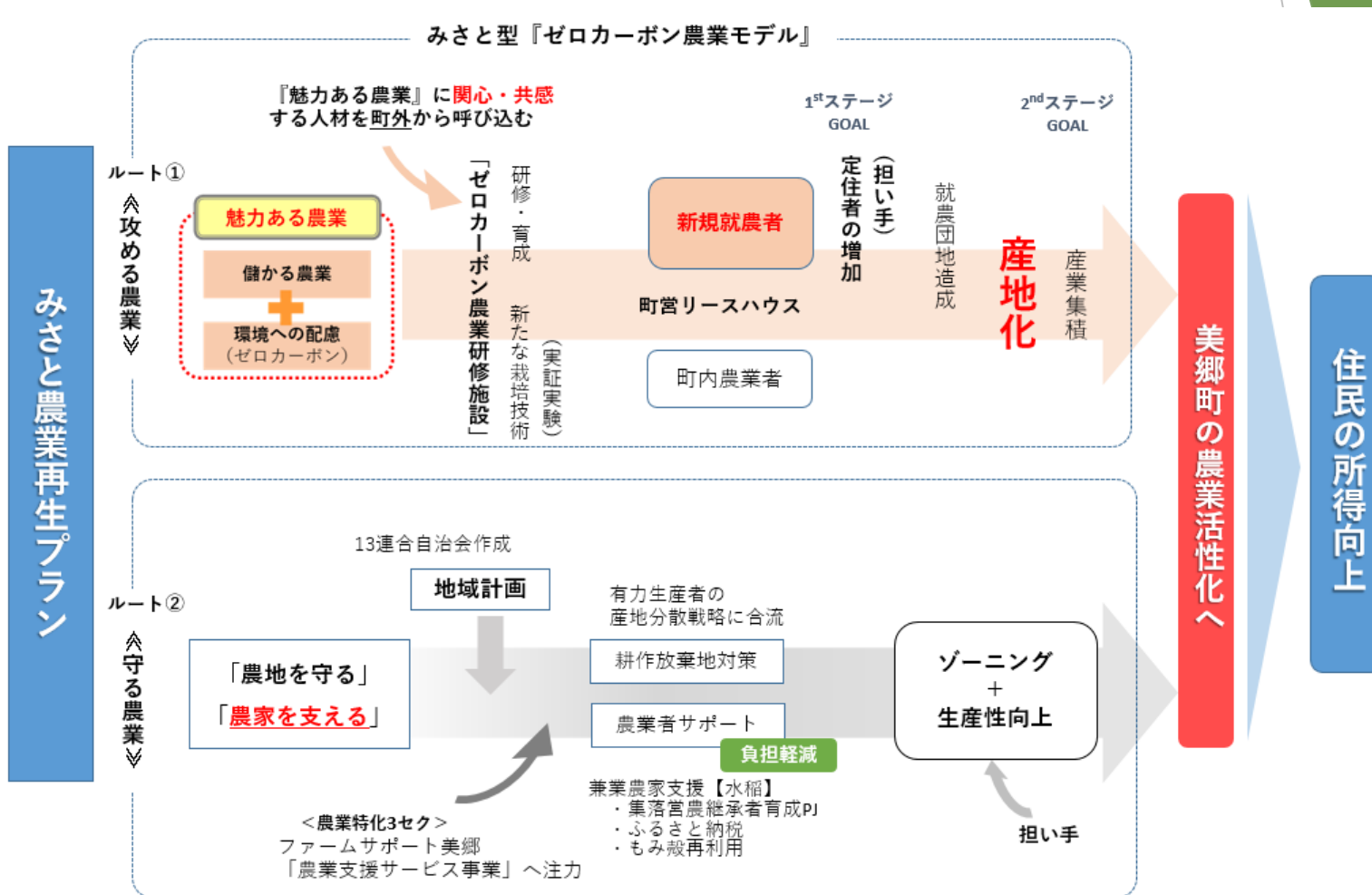
農地（水田）の移り変わり



※1 農地面積は水稲生産実施計画書常置農計画書より算出(R5(2023)は計画値)
 ※2 非農地面積はH24(2012)を0として常置計画書から除外された面積

みさと農業再生プラン

- ▶ 町内農業の課題解決策として、儲かる＋環境に配慮した『魅力ある農業』に関心のある人を町外から呼び込む



ゼロカーボン農業研修施設

ミニトマトの農業研修施設 トレーニングファーム「とまちえり」

令和7年3月完成 令和7年4月～ 農業研修生受け入れ（3名）

総事業費

282百万円

営農型太陽光発電・蓄電池設備

120百万円

（内再エネ交付金（重点対策加速化事業）

54百万円）

農業ハウス・研修施設

83百万円

（内農水省補助金

34百万円）

敷地内に営農型太陽光発電設備を設置し、再エネ電力をハウス内の冷暖房用ヒートポンプをはじめ、選果場や研修棟、EV充電設備など施設全体で活用することで、環境への配慮や光熱費削減につながる。

ヒートポンプは夏場の冷房にも使用できるため、作物の順調な育成に加え、酷暑での作業環境改善にも大きな効果を得ている。

研修生は2年間、研修施設で研修を実施し、その後は「自営就農」などで、最終的にゼロカーボンの農業を目指す。



農業研修施設「みさと。トレーニングファーム」
（PV100kW、蓄電池50kWh）